



サービス連合新聞

T 160-0002
東京都新宿区四谷坂町
9-6 坂町Mビル2F
TEL 03-5919-3261
発行人 森 啓記

各地連で定期大会を開催

7月16日に開催された北海道定期大会後、8月22日の東日本地連大会を皮切りに、9月7日の九州地連大会まで、6つの地方連合会において定期大会が開催され、2016年度がスタートしました。各地連大会の報告を各地連事務局よりいたします。

北海道地連

第16回定期大会
8/24 かでる2・75
北海道地連定期大会には、役員・代議員・傍聴者等40名が出席し、執行部から提案された各議案について、すべて原案どおり満場一致で採決されました。第13回本部大会で確認された、「3つの運動の柱」「6つの活動領域」に基づく運動方針を軸に、2016年度の取り組みに向けた補強を行いました。



北海道地連 中谷議長

させるため、地連四役の訪問や学習会などによる組織強化と組織拡大、上部団体を通じた観光政策提言、年間総実労働時間の削減に向けた取り組みなどについて、1年間の方針とこれからの課題について述べました。

また、加盟組合の役員交替のため執行部役員候補の補強を行いました。長きに渡り地連を支えてきた高橋副議長をはじめ、中川・一條両執行委員の3名が退任、新たに3名の執行委員が選出されました。

2016年度は、サービス連合が掲げる中期方針最終年度となりました。北海道地連の価値向上と活動の定着に向けて、加盟組合の努力が成果につながるよう全力で取り組みます。
(報告・北海道地連 岡林事務局)



北海道地連2016年度執行部

東日本地連

第12回定期大会
8/22 ホテルアジュール竹芝

東日本地連定期大会は、議長団に高野代議員(TB Mクラブリゾート労組)、箱守代議員(東武トップツアーズ労組)の両名を選出し議事を進めました。岡田議長長の挨拶のち、本年4月に新たに結成され

た「山六給食労働組合」権葉委員長より結成の経緯・現状の報告をいただき、会場内は歓迎の大きな拍手で包まれました。その後、ご来賓として連合東京の岡田会長・傳田副事務局長(サービス連合特別中執)、関東交運労協の杉本副議長より連帯と激励のご挨拶をいただきとともに、本部後藤会長からも挨拶をいただきました。

今大会では「2015」2016年度中間総括および補強(案)、「2015年度決算報告・会計監査報告」(2016年度予算(案))について提案をおこない、採択されました。また、代議員発言として渡辺代議員(サンルーラル大潟労組)より、東北の加盟組合組織報告をいただきました。今大会で確認された補強方針のもとに、加盟組合の皆さんと共に更なる前進を図っていききたいと思っ



岡田議長と議長団



採択の様子

中部地連

第16回定期大会
8/24 岐阜都ホテル

中部地連定期大会には、役員・代議員・傍聴者など60名が出席し、「2015」2016年度運動の中間のまとめと補強、「2015年度決算報告・会計監査報告」、「2016年度予算」の各議案を執行部が提案し、すべて原案通りで採択されました。

ていまずので、東日本地連活動への参画をお願いいたします!
(報告・東日本地連 平松事務局)



中部地連 2016年度執行部



中部地連 中山議長

(中部地連つづき) に入りました。主催者を代表して中山議長による挨拶の後、本部長後藤会長、来賓としてお招きした土肥和則・連合東海ブロック代表幹事(連合愛知会長)並びに衆議院議員赤松広隆様からも激励の挨拶を頂きました。議案審議においては「4年間の中期目標の最終年度にあたって、本部分針を踏まえつつ中部地連としての課題に取り組み」と「次の中期目標に対して地域で

取り組む課題については地域として議論をしていく」ことを確認しました。また、本大会において2016年度役員補選を行い、新役員を選出しました。本大会をもって竹内前副議長、中村(忠)・渡辺・伊藤・斉藤前執行委員の5名が地連役員を退任され、役員退任慰労表彰が行われました。(報告・中部地連 久野事務局長)

第12回定期大会 8/23 ヒルトン大阪 西日本地連定期大会には、役員・代議員・傍聴者など110名が出席し、森岡副議長の挨拶で開会した定期大会は、井口代議員(京都センチュリーホテル労組)・宮原代議員(阪急阪神交通社グループ労連)の2名を大会議長に選出し議事に入りしました。主催者を代表して北川議長による挨拶の後、本部長後藤会長及び来賓としてお招きした連合大阪の佐伯副事務局長から挨拶を頂きました。

西日本地連

5/2016年度運動方針の補強」、「2016年度予算」の各議案を執行部が提案し、すべて原案通りで採択されました。また、本大会において2016年度役員補選選挙を行い、新役員を選出しました。本大会をもって森岡副議長を始め長宗執行委員、瀬戸口会計監査の3名が地連役員を退任され、役員退任慰労表彰が行われました。(報告・西日本地連 武藤事務局長)



西日本地連 2016年度執行部



北川議長と議長団

第16回定期大会 9/7 ANAクラウン プラザホテル福岡 九州地連定期大会は、議長団に渋谷代議員(大分オアシスタワーホテル労組)、今井代議員(阪急阪神交通社グループ労連)を選出し、有永議長の挨拶後、連合福岡高島会長・九州交通労協越智事務局長・サービス連合本部森事務局長それぞれのご来賓より挨拶を受け議事に入りました。

前村事務局長より2015年/2016年度の中間のまとめと補強案の提案がされ、すべての議案が提案どおり満場一致で採択されました。また、代議員より貸切バス新運賃制度を遵守させる取り組みについての意見がありました。

2016年度役員補選選挙を行い、2名の新役員が選出されました。併せて本大会をもって本村前副議長(東武トップツアーズ労組)石川前副議長(都ホテルズ労組博多都ホテル支部)緒方前会計監査が退任され、役員退任慰労表彰を行いました。長年にわたるご活躍に、心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。

前村事務局長と議長団

九州地連

第16回定期大会 9/5 沖縄都ホテル 沖縄地連定期大会は役員・代議員あわせ12名とオプザーバー2名が出席しました。サービス連合本部より後藤会長にご出席いただき、中期目標運動の3つの



九州地連執行部による挨拶の様子



前村事務局長と議長団

(報告・九州地連 前村事務局長)



又吉前沖縄地連議長



沖縄地連 2016年度執行部

柱の総仕上げの年として、実現に向けて力強くご挨拶をいただきました。大会では「2015/2016年度運動の中間まとめと補強(案)」、「2015年度活動・決算報告及び2016年度予算(案)」の各議案について審議し、すべて採決されました。また本大会をもって沖縄地連に10年間尽力されてきました又吉前議長(都ホテルズ&リゾート労連)が退

(沖縄地連つづき)
任されることとなり、感謝の気持ちを表し、退任慰労表彰を行いました。
新しいメンバーを加え、新体制で運動の総仕上げと

して課題の実現にむけ取り組んでいくことを役員・代議員・オブザーバー全員で確認しました。
(報告：沖縄地連 山中事務局長)

メニュー表示適正月間

〈再発防止にむけた取り組み〉

11月1日～11月30日

サービス連合では、2014年より毎年11月を「メニュー表示適正強化月間」として具体的な取り組みを進めています。

食品表示法など法律の整備は進みましたが、問題を風化させることなく、事故防止のために自主的に意識啓発や点検・確認活動など必要な取り組みを強化し、労働組合としての社会的責任を果たし産業の発展を促すため、サービス連合と加盟組合が一体となって取り組みを進めていきたいと思います。

2014年7月に配布した「サービス連合食品表示問題に関する報告」もご活用ください。なお、この取り組みについては業界団体と関連官庁に報告をしておく予定です。取り組みについてはホームページ等をご覧ください。

加盟組合の取り組み

- ①ポスター掲示による啓発
- ②メニュー表示のチェック
- ③メニュー表示について労使での話し合い
- ④アンケートへの回答

サービス連合の取り組み

- ①加盟組合へのポスターの配布
- ②観光庁や業界団体に対し取り組みを報告
- ③加盟組合へのアンケートの実施



住まいる共済
火災はもちろん、台風・地震など自然災害にも備えられる「住まいと家財の保障」。

全労済は、営利を目的としない保険の生涯として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金を支払いいただいております。出資金をわ支払いいただいております。出資金をわ支払いいただいております。



**変わりゆくニーズに
応えて、変わらない
安心をカタチに。**

住まいる共済	ごめん共済
総合健康共済	おんせん共済
マイカー共済	自動車共済
ゆとり生命共済	新団体年金共済
	おんせん共済

全労済は、営利を目的としない保険の生涯として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をわ支払いいただいております。出資金をわ支払いいただいております。

労働時間適正化月間

サービス連合では、誰もが仕事と生活の調和の取れた働き方・暮らし方ができる労働時間を目指して、年間の総実労働時間を短縮するために、2012年度より「第3期アクションプラン」に基づき取り組みを進めています。2016年度は、サービス連合全体で2012年度から60時間短縮すること(1996時間05分)としています。2014年度の調査結果では2067時間58分となっており、一層の取り組み強化により、総実労働時間を短縮することが必要になります。そこで、2016年度のサービス連合全体の取り組みについて、より効果的に実践できるようなポイントを加えて、強化期間を設定することとします。各加盟組合および地方連合会においては、働く者の健康管理や仕事と生活における時間の調和(ワーク・ライフ・バランス)の観点から、総実労働時間を短縮することの重要性をあらためて認識するとともに、強化期間

2016秋闘はじまる

第1回闘争委員会を開催

サービス連合では10月4日(火)に2016秋闘第1回中央闘争委員会を開催しました。闘争委員会では加盟組合および地連の状況を共有するとともに、2016秋闘方針に基づき今後の取り組み体制について確認しました。

第16回定期大会での決議に則り、2016秋闘では2016春季生活闘争の方針を引き継ぎ、すべての加

盟組合が魅力ある産業の実現に向け、労働条件の改善に全力を傾注することとします。各加盟組合は要求書を原則として10月31日(月)までに提出することとし、遅くとも11月上旬までには提出し、11月30日(水)までの決着を目指すこととしています。

定時連絡については11月1日(火)から配信します。



國學院大學 橋元秀一氏

今回は、國學院大學経済学部教授の橋元秀一氏を講師に迎え、2017春季生活闘争にむけて弾みとなるお話をいただきます。

中央委員会とあわせ積極的な参加を要請致します。

第16回中央委員会 学習会

2017年1月18日(水) 午前10時より連合会館において、第16回中央委員会の開催前に、学習会を開催します。

「働き方」を変えてみよう!

カエル! ジャパン
Change! JPN

における具体的な取り組みを要請いたします。

